

補助員がきっかけで

市の放課後児童支援員の補助員として登録し、この仕事に出会いました。同時期に他の仕事もしていましたが、放課後児童クラブの子どもたちに会えるのが楽しみだったんです。補助員になって初めて、この仕事の魅力に気付かされました。

どんな仕事ですか？

放課後や長期休暇中に、保護者が共働きなどにより昼間家庭にいない小学生を施設(放課後児童クラブ)で預かり、安心して過ごせる遊びや生活を支援し、成長を見守る仕事です。自然体の子どもたちと関わることができて、本当に楽しいですよ。



放課後児童支援員

あきづき みゆう
秋月 美優 さん
しもせき しゅうしん
下関市出身

大切なことは？

放課後児童クラブでは、小学校低学年～高学年と、さまざまな発達段階にある子どもを預かります。子どもの発達段階や個性を考慮し、支援したり、自発的にできることを見守ったりすることが大切です。

仕事図鑑



このページは、小・中学生、高校生を対象に市内で働く人・職業を紹介しています。先輩たちのメッセージを参考に、未来の自分を探してみませんか。

子どもたちを預かる準備

平日昼過ぎ、名陵児童クラブに放課後児童支援員・補助員が出勤し、清掃や事務作業をしながら、活発に情報交換をします。

「最近、〇〇ちゃんが連絡帳を出す習慣が身に付いた」

「〇〇くんが学校で喧嘩したみたい。少し様子をみましょう」

秋月さんたちは、子どもたちの成長や心配事を共有し、子どもたちの登級を待ちます。
笑顔あふれる児童クラブ

下校のチャイムが鳴った数分後。児童クラブに駆け寄る子どもたちに秋月さんは「おかえり！学校どうだった？」と笑顔で迎えます。

秋月さんは「子どもは気持ちを上手く言葉にできないこともあります。急かさず、ゆっくり時間をかけ、笑顔で話を聞くように心がけています」と話します。

「子どもが大好き！」その気持ちが集まることで、笑顔あふれる児童クラブになっているのかもしれないね。

▼放課後児童クラブ支援員の募集案内



「あっきー」とあだ名で呼ばれるようになり、うれしい！



みんなでハロウィーンの折り紙作り。

登級確認をしながら、子どもたちを迎えます。

